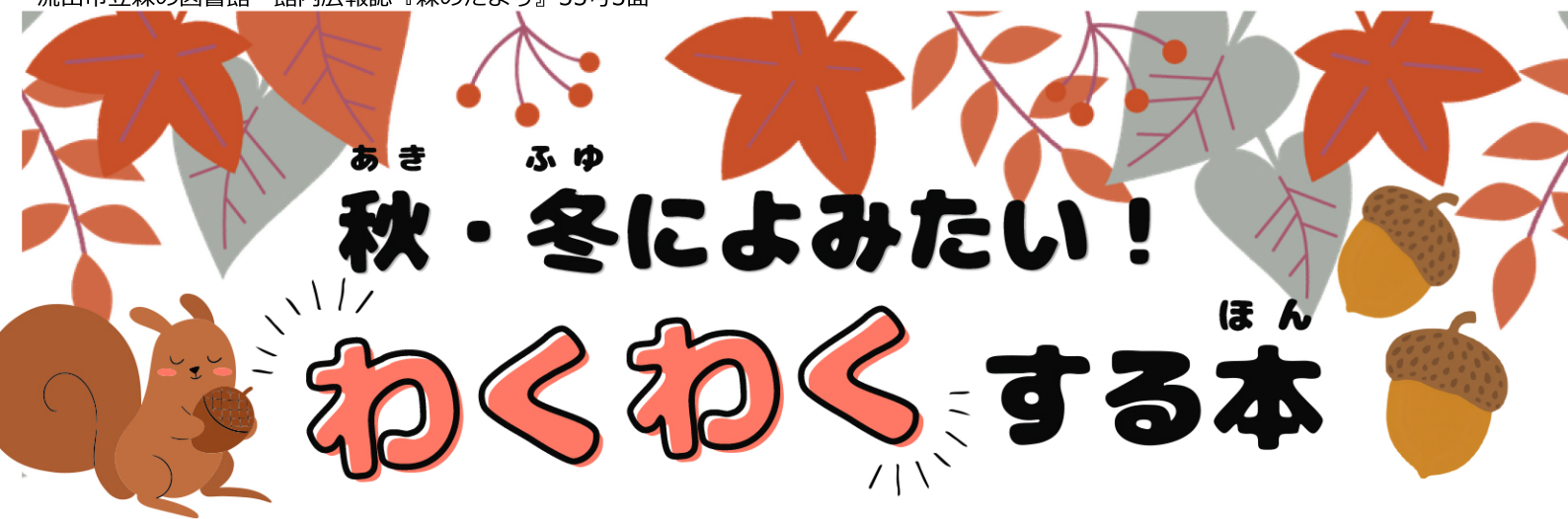




どんぐりずかん

宮國晋一 監修／WILLこども知育研究所 編
金の星社

657

秋になると公園などでみつけられる「どんぐり」は、ブナのなかまの木になる実のことで、日本には22種類あります。それぞれ違う「どんぐり」のとくちょうや成長の様子などを詳しく知ることができる本です。「どんぐり」を使った遊びやおもしろい作り方も紹介されています。「どんぐり」は森の図書館のまわりにもたくさんあるので、みつけてしらべてみてね！

こたつ

麻生 知子／作

福音館書店

E
71

「今日は夜中まで起きている」と決めたこうた君の、大晦日から元旦にかけての様子です。こたつを真上から見た状態でお話が進みます。歳末のチラシ、おせちづくりや年越しそば、徐々に散らかっていく玩具、除夜の鐘、お年玉、年賀状…。年末年始の空気感や、細かく描かれた食べ物と小物の変化が楽しい絵本です。みんなはどんな年末を過ごすのかな？



じどうしょコーナー これからのてんじよてい

みんなのオススメ本 あきの本
おしごと ハロウィン クリスマス

へきめんイベント

おすすめのほん
アドベントカレンダー